

臨床試験一覧

下記に当科で行っている臨床試験、医師主導治験を公開します。

臨床研究実施状況

全国共同研究

JPLSG 前方視的研究

日本小児がん研究グループ血液腫瘍分科会(JPLSG)における小児血液腫瘍性疾患を対象とした前方視的研究(JPLSG-CHM-14)

急性リンパ性白血病

1. 小児 B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第 II 相および第 III 相臨床試験 (ALL-B12)
2. 小児および若年成人における T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第 II 相臨床試験 (JPLSG ALL-T11)
3. 初発小児フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病(Ph+ALL)に対するダサチニブ併用化学療法第 II 相臨床試験 (ALL-Ph18)
4. MLL 遺伝子再構成陽性乳児急性リンパ性白血病に対するクロファラビン併用化学療法の有効性と安全性の検討をする多施設共同第 II 相臨床試験および MLL 遺伝子再構成陰性乳児急性リンパ性白血病に対する探索的研究 (MLL-17)
5. 小児再発・難治フィラデルフィア染色体陽性白血病に対するポナチニブ安全性確認試験 (PedPona19)

急性骨髄性白血病

1. 小児急性骨髄性白血病を対象とした初回寛解導入療法におけるシタラビン投与方法についてランダム化比較検討、および寛解導入後早期の微小残存病変の意義を検討する多施設共同シームレス第 II-III 相臨床試験 (AML-12)
2. 小児急性前骨髄球性白血病に対する多施設共同第 II 相臨床試験 (AML-P13)
3. 小児急性骨髄性白血病難治例の前方視的観察研究 (AML-R15)
4. 第 1・第 2 寛解期小児急性骨髄性白血病を対象としたフルダラビン・シタラビ

ン・メルファラン・低線量全身照射による前処置を用いた同種移植の安全性・有効性についての臨床試験(AML-SCT15)

慢性骨髄性白血病

1. 初発時慢性期および移行期小児慢性骨髄性白血病を対象としたダサチニブとニロチニブの非盲検ランダム化比較試験(CML-12)

リンパ腫

1. 標準的化学療法を行った進行期小児リンパ芽球性リンパ腫の予後因子探索を主目的とした多施設共同試験 (ALB-NHL-14)
2. 小児高リスク成熟 B 細胞性腫瘍に対するリツキシマブ追加 LMB 化学療法の安全性と有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験(B-NHL-14)

ランゲルハンス細胞組織球症(時期試験登録準備中)

固形腫瘍

・ 固形腫瘍登録観察研究による中央診断

1. 小児肝癌に対する国際共同臨床試験(JPLT4: PHITT)
2. 横紋筋肉腫低リスク A 群患者に対する VAC1.2(ビンクリスチン、アクチノマイシン D、シクロホスファミド 1.2 g/m²)/ VA 療法の有効性及び安全性の評価 第 II 相臨床試験(JRS- II LRA)
3. 横紋筋肉腫低リスク B 群患者に対する VAC1.2(ビンクリスチン、アクチノマイシン D、シクロホスファミド 1.2 g/m²)/ VI(ビンクリスチン、イリノテカン)療法の有効性及び安全性の評価 第 II 相臨床試験(JRS- II LRB)
4. 横紋筋肉腫中間リスク群患者に対する VAC2.2/ VI療法の有効性及び安全性の評価 第 II 相臨床試験(JRS- II IR)
5. 横紋筋肉腫高リスク群患者に対する VI/VPC/IE/VAC 療法の有効性及び安全性の評価 第 II 相臨床試験(JRS- II HR)
6. 限局性ユーイング肉腫ファミリー腫瘍に対する G-CSF 併用治療期間短縮 VDC-IE 療法を用いた集学的治療の第 II 相臨床試験(JESS14)

脳腫瘍

1. 小児上衣腫に対する術後腫瘍残存程度と組織型によるリスク分類を用いた

集学的治療 第Ⅱ相試験

2. 非定型奇形種様ラブドイド腫瘍(AT/RT)に対して強化髄注短期決戦型化学療法とチオテパ/メルファラン大量化学療法後に遅延放射線治療を行う集学的治療レジメンの安全性と有効性を検討する第Ⅱ相試験(JCCG AT20)
3. 小児髄芽腫に対し新規リスク分類を導入したチオテパ/メルファラン大量化学療法併用放射線減量治療の有効性と安全性を検討する第Ⅱ相試験(JCCG MB19)

医師主導治験

1. 初発高リスク神経芽腫に対するI-131 MIBGを用いた内照射療法 (JRCT2041190104)
2. 第一再発高リスク神経芽腫に対するI-131 MIBGを用いた内照射療法 (JRCT2041190105)